

北部老人福祉総合

エリア(仮称)建設

基本計画について

北部老人福祉総合エリア(仮称)建設事業については、県と市の共同事業として進めており、建設地は十二所地区に決定していますが、このたび県が六年度事業として進めていました建設基本計画が策定されましたのでご報告いたします。この計画については、市としても大館市老人福祉総合エリア検討委員会に諮りながら県と意見調整を重ねて策定したものであり、当市の基本計画として位置づけられるものです。

本計画の概要を申し上げますと、建設予定地二十二・九ヘクタール



を今年度買収する予定で、内訳として県が十・三ヘクタール、市が十二・六ヘクタールとなっております。施設については、広く県民が利用する施設は県が整備し、主に大館市民が利用する施設は市が整備する方向で県と市の施設整備の分担を決めています。

年次計画については、七年度は用地買収、建物基本設計、造成基本設計、八年度は実施計画、造成工事、九年度以降建物工事着工、十一年度の一部供用開始となっております。

本事業は、市民が安心して高齢期を迎えることができるようにするため、福祉行政の重点施策として五大プロジェクトの一つに位置付けており、二十一世紀に向けた超高齢化社会に対応する先進的なモデル事業として、本計画が早

期に実現できるよう努めますのでご理解とご協力をお願いします。

農作物の育成と

降ひょう被害について

基幹作物である水稲は、播種後好天に恵まれたことから苗の育成が順調に推移したことにより田植え作業も五月十四日に始まり二十日には終了しており、移植後の活着も「まずまずの良」で平年並みとなっております。

野菜、果樹等については概ね順調に成育してきましたが、五月二十六日午前九時三十分ごろ、寒冷前線の通過に伴って豪雨とともに直径一・二センチぐらいのひょうが数分間管内の主に米代川沿線を直撃し、農作物及び果樹に被害を受けました。

この度の降ひょうで最も大きな被害を受けたのは、五年にも降ひょう被害のあった中山地区のナシで、幼果に傷を受けており品質低下が免れない状況です。被害率は一〇〇～二〇%と場所によって差異はありますが平均して五〇%程度と思われます。被害面積は二十五ヘクタール、農家戸数で四十戸にのぼっています。また、リンゴも幼果に傷を受けていますがナシと樹形が違うことと幼果が毛で覆われていることから被害が軽微であると思われます。

野菜については、収穫期の露地



5月26日に市内に降ったひょう

害の程度が軽微であり、薬剤散布は通常防除で可能であると結論づけています。このため、これから行われる摘果が最も重要でありますので、関係機関と協力し、指導の徹底を図りたいと思います。

公共事業の

発注計画について

今年度の当初予算は統一地方選挙の関連で骨格予算としたことから、政策的経費等主な事業費の計上を見送ったところです。こういうことから、これらの事業費は今議会にお願いしており、本格的事業発注は議会終了後となり時期的な遅れは否めませんが、地域経済に与える影響が大きいことから、上半期の発注目標を七〇%と定め全力を上げて早期発注に努めたいと思いますので、よろしくご理解ください。

その他の行政報告

▽秋田桂城短期大学の設置について
▽阪神・淡路大震災復旧対策等人的援助のための職員派遣について
▽中国人殉難者慰霊50周年式典について
▽大館矢立ハイッのオープンについて
▽第43回山田記念ロードレース大会について
▽大館市城西児童会館の開館について
▽成章学校給食センターの学校給食開始について